



会員・報道機関各位

2022年2月9日
一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)
代表理事 田嶋 伸博

インド 2022-23 年度予算 オンライン円卓会議の報告

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
去る 2022 年 2 月 8 日に駐日インド大使館主催で、インド 2022-23 年度予算 オンライン円卓会議が開催され、官庁関係や自動車メーカーが参加されました。
弊会からも有馬理事が登壇しましたので、ご報告致します。

「記」

1. 日時:2022 年 2 月 8 日(火)14:00~16:20
2. 場所:オンライン(Webex)
3. インド側登壇者



- ・駐日インド大使 サンジェイ・クマール・ヴァルマ 氏 (H.E.Mr.Sanjay Kumar Verma)写真右
- ・経済商務担当公使 モナ・カンダール 氏 (Ms.Mona Khandhar)写真左

4. 内容

- 1)開会の挨拶:14:00~14:10(10分)

駐日インド大使のサンジェイ・クマール・ヴァルマ氏から開会の挨拶がありました。

- 2)予算の説明:14:10~14:40(30分)

経済商務担当公使のモナ・カンダール氏からインド政府の2022-2023年度予算説明がありました。

3) 予算に対する日本側のコメント:14:40~16:20(100分)

政府関係者や自動車メーカーに交じって弊会理事の有馬仁志がコメントを述べました。



【有馬仁志理事のコメント】

電気自動車普及協会は、EV/PHV/FCV の実証実験や普及活動についての情報共有を行い、普及に向けた議論も実施しています。

技術委員会では、EV の開発について技術的観点から講演・議論を行っています。内燃機関自動車をEVへ変換するための、コンバージョンEVガイドラインを発表しております。

本年は、国際学生“社会的”EVデザインコンテストを実施する予定です。

今回は、大きく変わる自動車業界の流れから、これまでEVのデザインをメインとしたコンテストのコンセプトを変更し、「2040年の社会デザインをメインとした中でのEVの役割・デザイン・ユーザビリティ」を考えるコンテストとしております。ぜひインドの学生の方にも参加いただき、未来のモビリティについて一緒に考えて行きたいと思っております。

インドでは、再生可能エネルギーについて拡大する計画をされているとのことですが、EVの普及についての情報をお聞きし、インドの電気自動車普及について、ビジョンや課題など意見交換を行っていただきたいと思います。

例えば、ローカルの小規模な太陽光発電を組み合わせ、仮想発電のネットワークからもEVへ充電できるような構成では、グリッドから独立した形で運用可能です。

4) 最後に、モナ・カンダール氏が、オンラインラウンドテーブルへの参加の感謝のことばを述べられ、閉会。

★弊会では引き続き、会員を募集しております。お気軽に事務局までお問い合わせください。

●トップページ <https://www.apev.jp/>

●入会ご案内ページ <https://www.apev.jp/entry/>

□正会員(企業向け):年会費 1口10万円

□賛助会員(個人向け):年会費 1口1万円

□特別会員(行政機関・官公庁・マスコミ関係者様向け):年会費 無料

★お問い合わせ先:一般社団法人 電気自動車普及協会(APEV)事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 情報学環・福武ホール

TEL:050-3375-4937 FAX:050-3153-2686 E-mail:info@apev.jp